

第30回全国学力・学習状況調査、福岡市学習定着度調査の結果(概要)について

4月17日に実施した全国学力・学習状況調査(6年生)と、7月10日に実施した福岡市学習定着度調査(3年生)の結果の概要をお知らせしますので、内容をご確認いただきますとともに、ご家庭でのお子さまのご指導にご活用ください。

全国学力・学習状況調査(6年生)

- 国語A(知識に関する問題) ①【全国標準と比べて、上回っている】
- 国語B(活用に関する問題) ①【全国標準と比べて、上回っている】
- 算数A(知識に関する問題) ②【全国標準と比べて、やや上回っている】
- 算数B(活用に関する問題) ②【全国標準と比べて、やや上回っている】
- 理科 ①【全国標準と比べて、上回っている】

* 国語については、「目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むこと」や「主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くこと」などで正答率がかなり高いが、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく読むこと」で正答率がやや低くなっています。

* 算数については、「小数の除法の意味理解」や「数量の関係理解」などで正答率がかなり高いが、「折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること」で正答率がやや低くなっています。

* 理科については、「複数の情報を関係付けながら、分析して考察すること」や「実験を通して導き出された結論を記述すること」などで正答率がかなり高いが、「自然事象の関係を目的に合ったものづくりに適用すること」で正答率がやや低くなっています。

福岡市学習定着度調査(3年生)

- 算数 ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】
- * すべての問題で福岡市平均を上回っていて、特に「倍の意味」や「たし算とかけ算(文章問題)」「式の意味」で福岡市平均をかなり上回っています。

今後の取組

算数の授業などにおいて、学級担任と専科教員とがさらに連携を深めながら、日々の授業改善に取り組んでいきます。また、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組もうとする意識を高めながら、各教科の特性に応じた有用感を味わわせる授業づくりを心がけていきます。



第30回福岡市学習定着度調査(4・5年生)の結果について

9月4日に実施した福岡市学習定着度調査(4・5年生)の結果の概要についてお知らせします。今後、校内で分析をしながら日々の授業改善に役立てていくとともに、来年度の確かな学力の向上の取組にも活かしていきます。

福岡市学習定着度調査(4年生)

- 国語 ①【福岡市平均と比べて、上回っている】
- * すべての問題で福岡市平均を上回っていて、特に「言語についての知識・理解・技能」「読むこと(文学的文章)」「読むこと(説明的文章)」「話すこと・聞くこと」では、福岡市平均をかなり上回っています。
- 算数 ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】
- * 「整数・小数の計算、のこりを求める文章題」や「数の構成、数のしくみ」の問題は、福岡市平均と同程度であるものの、その他の問題はすべて福岡市平均を上回っています。

福岡市学習定着度調査(5年生)

- 国語 ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】
- * すべての問題で福岡市平均を上回っていて、特に「話すこと・聞くこと」や「書くこと」では、福岡市平均をかなり上回っています。
- 算数 ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】
- * 「数の構成、数の性質」「面積、体積」「三角じょうぎの角、平行と角」の問題は、福岡市平均と同程度であるものの、その他の問題はすべて福岡市平均を上回っています。

今後の取組

算数の授業などにおいて、学級担任と専科教員とがさらに連携を深めながら、日々の授業改善に取り組んでいきます。また、課題解決に向けて自ら考え、自主的に取り組もうとする意識を高めながら、各教科の特性に応じた有用感を味わわせる授業づくりを心がけていきます。

